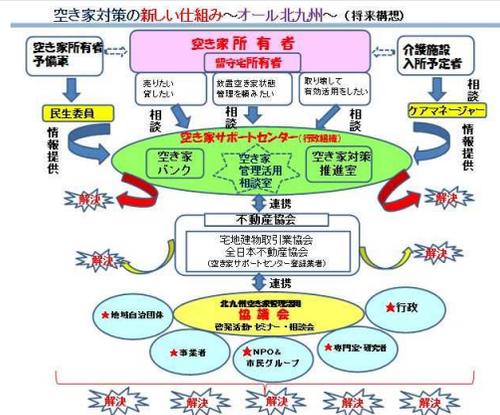


『オール北九州』で推進する空き家・留守宅対策事業(北九州空き家管理活用協議会)

課題と目的	放置された空き家・留守宅に焦点を当て、管理活用を促進する
取組内容	空き家バンクの機能拡充の検討及び啓発活動により空き家化を予防する取り組み
成果	空き家バンクの新スキーム提案及び啓発活動により6件の成約と実働チームが5チームに拡大

空き家バンク機能拡充・新スキームの検討

1. 空き家バンクの機能拡充
2. 総合相談窓口の設置



啓発活動による発生防止

1. 啓発活動の内容

- (1) 所有者に適正管理や活用の重要性を啓発
- (2) 所有者からは様々な相談を受け対応する
- (3) 地域自治組織に働きかけて地域ぐるみで解決模索
- (4) 実働チーム(担い手)を募り、拡大する



約6ヶ月の短期間で16回の啓発活動実施

啓発活動の実施後、相談コーナーおよびアンケート実施により所有者ニーズの情報収集が出来、以下の結果に繋がった

- 相談数・・・37件
- 案件数・・・13件
- 成約数・・・6件(管理／5件;活用／1件)

主な成果物

1. 「空き家バンク」の機能拡大と総合相談窓口の概要図
2. 啓発活動の各種キット&パンフレット
(ホームページ、チラシ、パンフレット、プレゼン資料、相談カルテ、アンケート)

空き家管理及び活用の担い手の育成

1. 担い手の育成
 - (1) パンフレットによる募集&啓発活動での声掛け
 - (2) 対象は ①夢追塾同窓会 ②元気な高齢者 ③地域の担い手 ④不動産業者 ⑤地方創生に携わる学生
2. 担い手の活動内容とスタッフ
 - (1) 案件の発掘 (2) 成約案件の管理・活用
 - (3) スタッフ数:29名/1チーム平均6名

約6ヶ月で実働チームが2チームから5チームに拡大